	63 期 新潟 国内イマージョン研修
日時	11月5日(土)13:45~11月6日(日)12:30
場所	国際大学(新潟県南魚沼市)
参加者	1年生 25名

内 容 11月5日(第1日目)

○講義のはじまり

大学に到着後すぐに研修室へ。

生徒2名に1名のファシリテーターがつくチームとして着席。緊張している生徒にファシリテーターは気さくに声をかけ、講義へのモティベーションィベーションをあげていた。ファシリテーターは10か国13名、それぞれ母国および欧米の大学を卒業後、国際社会でのビジネス経験を持つ大学院研究生である。



自己紹介をおこなって、アイスブレイク。

○授業のテーマ

授業のテーマは、"Cross-Cultural Communication"。教授が講義を しながら、生徒に質問を投げかけ、生徒は気づいたことや意見を発表 していく講義スタイルである。

○ディスカッション

事前に提示されていた課題について、ファシリテーターとディスカッションを行い、 グループでまとまった意見を発表する。

課題の1つは、異なる2つの国の人の短い会話文から、その文化、背景を考える。

「親が決める相手と結婚する文化について、どう考えるか。」 話し合いの発表の時には、参考として、サウジアラビア出身 のファシリテーターが母国の現状、自身の考えを話した。 生徒にとって貴重な機会となった。

○ディスカッションのまとめ発表に対する教授の評価、助言

○講義終了

全編英語で行われた講義が終了。 生徒は、とても積極的に取り組み、考え、 自分のことばで表現していた。

○キャンパス 散策

雪景色の八海山が向こうに見える緑豊かなキャンパス。紅葉も山から下りてきていた。キャンパスにももうすぐ雪が降るそうだ。例年、約3メートルの積雪になりアジア、アフリカ各地からの留学生はとても驚くという話を聞く。キャンパス内には学生寮、家族寮もある。









○食事

お世話になった民宿。

食事は地元の食材がふんだんに使われ、ご飯 は魚沼産コシヒカリ新米をいただいた。





- ○食後の研修。
- ・授業の振り返り



11月6日(第2日目)

○ディスカッション

ファシリテーターとディスカッション。生徒 5 名にファシリテーター 1 名のチーム。様々なトピックについて、話し合う。

横浜のおすすめは何か?自分の住んでいるところの紹介等、1日目 より、さらに途切れることなく、会話がはずんでいた。



○キャンパスツアー

チームごとにファシリテーターがキャンパス内を案内。

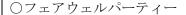
図書館、24 時間オープンの学習スペース、寮等をまわった。自然に 恵まれた広いキャンパスの中には BBQ スペースもあった。

○アクティビティ

講義室に戻り、全編英語で、アクティビティを行った。

- 1 班対抗で単語ゲーム
- 2 トピックが3つ提示され、チームごとにその中から1つ選び、ディスカッションをし、 まとめを発表した。

生徒達は、積極的に話し合い、また効果的に発表する方法についてファシリテーターから 助言をうけ、短時間にまとめ、発表することができていた。



世界各国の料理をいただきながら、生徒達は、教授や2日間 お世話になったファシリテーターの方々と積極的に会話を楽しん でいた。

パーティの最後に生徒代表がお礼の言葉を述べた後、生徒全員で アカペラで「新しき日」を合唱。美しい歌声とハーモニーに大学の 皆さんは、驚き、感激していらした。





